

ゆめゆめ

2020年3月19日(木) No.67



【発行】社会福祉法人くすみ福祉会
〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目13番82号

TEL:072-978-3080

MAIL:yume-kurumi@viola.ocn.ne.jp

URL:kurumi-fukushikai.net

<発行責任者> 管理者 北丸 浩一

『地域に深く根を張る』ことの大切さ

今年度も、より良い利用者支援を充実させる取り組みとして、利用者の方々のニーズに合わせ作業面や生活面を様々な角度から見直し、より発展させてきました。特に『オプション』と称した取り組みでは、個々のニーズを掘り起こし、その要求を実現するために年間を通して多くの取り組みを実施してきました。ゆめゆめでも幾度となく紹介してきましたが、実現した際の利用者さんの笑顔は何物にも代えがたく、担当職員にとっても『取り組んで良かった』と思える瞬間でもあります。

ハード面でも「グループホームくすみの樹」の事業を実施することで、利用者の方々はもとよりご家族にとっても、安心して暮らすことができる環境を整えることの大切さを身をもって知り、『この地域で暮らして良かった』と感じて頂けることの大切さも知って頂く事が必要だと感じています。

時間をかけ少しずつ地域に根差す取り組みを行っています。まだまだ不十分なところもあります。利用者の方々の余暇活動を充実させるための移動支援事業がそれで、夢工房くすみのみよりの樹を利用されている方以外にも、ガイドヘルパー事業を利用しての取り組みを充実させることが大切だと感じています。障害者生活支援センター(相談支援事業)やヘルパーステーション(移動支援事業等)の事業充実も今後の課題と言えます。

当法人の課題は先に述べた事業拡大も含め、利用者の方々が安心して生活を送ることのできる環境づくりも大切です。親亡き後のグループホーム「第2くるみの樹」の建設等、利用を希望される方が年々増えてくる中で、限界が生じてきており、日中支援活動の場の拡大も視野に入れた事業計画が必要となってきています。

来年に迫った3年に1度の法改正(報酬改正)は、「地域に深く根を張る」ことができるような改正であってほしいと常々思っています。度重なる法改正は幾度となく利用者やその家族、支援者を翻弄してきました。が、それに臆することなく常に地域とともに歩む姿勢を崩さず、より良い支援や運営を行うことが本当に大切な事だと言えます。

管理者 北丸

『新型コロナウイルスの影響から』

三月十七日現在、新型コロナウイルスの国内感染者数は八二九名となっており、クラスター(集団)だけでなく、これからの拡大が懸念される散発した感染報告も連日報道されています。

利用者の皆さんも感染予防のため、週末も自宅でご過ごすことになっていきます。また、公共交通機関を利用しての登所、職員の通勤の状況を確認し、三月十一日より利用者さんの送迎や職員のマイカー通勤での対応も実施しています。外出や体を動かす機会が少なくなっており、皆さんの表情や言動にストレスの影響を感じ取ることがあります。

外出を控える、手洗い、うがいなど個人で出来る予防に加え、事業所内での集団感染予防対策はもちろん、社会福祉事業所として地域規模の感染予防対策も考えなくてはなりません。今回のような非常事態こそ「障害者の命を守る」ことが、我々障害福祉に関わる職員の最大の責務であると感じています。

様々な障害によって手洗いが充分に出来ない方、マスクが着けられない方など自己防衛が難しい方もいます。万が一感染してしまった場合、抵抗力の弱い方などは特效薬がない現在に於いて更に危険度が高まります。感染しないために皆さんが安全に通所して事業所でサービスが受けられることを最優先で考えなくてはなりません。その為には、事業所独自の対応も必要で、その期間が長引く分事業所の負担も増えていきます。さらに、仮に事業所から感染者が出た際には、事業所を閉鎖しなくてはいけない可能性もあります。逆に、グループホームで暮らす方は「我が家」でもあるため閉鎖することはできず、危険な環境で生活を続けなければいけない状況も考えられます。

国や自治体からの補助がなくては、これら事業所のみでの対応には限界があり、事業所に大きな負担がかかります。今回のような非常事態では、国や市町村だけでなく、社会福祉法人などが協同して自らの役割を果たす必要があります。マスクの転売やトイレトペーパーの買い占めなど「自分だけ安全であれば、快適であれば良い」という考え方は我々にはありません。状況によっては他事業所の方を「避難所」として受け入れることもありえます。そのような時は、率先して手を上げることが出来るような事業所でありたいと思います。

まずは、一刻も早い新型コロナウイルスの感染収束を願いつつ、予防に奮闘したいと思います。

サービス管理責任者 大月

新型コロナウイルス対策には… 手洗い・うがい・笑顔★

手洗い講習でしっかり予防！

新型コロナウイルスの影響の中、リサイクル班もこれまで以上の手洗い・うがい等の対策をしながら、作業に取り組んでいます。そんな手洗いも、なかなか上手にできない方も多いのが現状です。新型コロナウイルスに限らず、体調管理に不可欠なのはやはり手洗い！ということで、リサイクル班では手洗い講習を実施しました。事業所で作成した手洗い動画を全員で見した後、個々に実践！普段は、指先を濡らす程度しか洗わない人もいます。毎日流れる新型コロナウイルス関連のニュースへの危機感と、みんなが見ている緊張感からか、とても丁寧に手洗いをされていました。

丁寧な手洗いを意識することがいつまで続くかなあ…という心配もありますが、利用者さんも職員もお互いに自然と声を掛け合っていてみんなで上手に手洗いができることが大切だと思います。今後も継続して取り組めたらと思っています。

リサイクル班 濱野



笑顔で免疫力アップ！

コロナウイルス流行の影響から、チャレンジ班でも商業施設などへの散歩や買い物など屋外の取り組みや作業を自粛しており、屋内での作業中心の日々が続いています。そういった中で、少しでも日々の活動で窮屈な思いをしてほしくないという思いから、人の往来の少ない公園へ出かけたり、事業所周辺の散歩をしたり、ドライブに出かけたりなど、出来る限りの工夫を

しながら過ごしています。

利用者の方の中には、世間の動向に敏感になられている方もいますが、チャレンジ班はどこかのんびりとした雰囲気、ふとウイルスが流行していることを忘れるくらい穏やかに過ごされている方が多いです。

そんな中、年度末となりチャレンジ班A & B合同で「今年度も頑張った！来年度も頑張るぞ！」という思いを込めて、ささやかながら、みんなでおやつを食べる取り組みを実施しました。

日中の作業場面や余暇活動では、なかなか一堂に会する場面が少ないのですが、今年度はA班の利用者さんがB班の作業に入ったり、B班の利用者さんがA班の作業に入ったりと、ごくごく自然な形でそういった様子が見られています。余暇活動でも同じく、B班とドライブに行く、A班でのんびり過ごすというかたちもちらほら。そんな風に自由に過ごし方を考えることに嬉しさを感じています。

おやつを取り組みは、くじ引きで持ち帰り用のおやつも当たるというおまけ付きで、利用者のみなさんは思い思いに紐を引っ張って持ち帰っていました。おやつのロールケーキは、皆さん一瞬でペロリ！持ち帰るおやつもこっそり食べてしまう方もいましたが、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

コロナウイルス流行の息の詰まりそうな日々ですが、楽しく笑ってウイルスに負けないくらい免疫力アップだ！と思う今日この頃です。

チャレンジ班 増田



防犯・救命救急講習



2月15日(土)にALSOKの方を講師に招き、職員対象の防犯・救命救急講習を行いました。

2016年の津久井やまゆり園事件から全国で不審者侵入などに備えた防犯意識が更に高まりました。当法人でも2019年度より防犯対策会議を設け、防犯意識を深めました。一年間のまとめとして、実際に不審者が侵入した場合どのように対処すべきかを学び、職員間でもさす股を手にして攻守に分かれて使用してみました。不審者に冷静に対処できるか…？という不安感も残りましたが、訓練を繰り返すことが重要だと感じました。今後も防犯訓練を定期的に行い、安全な事業所生活を提供したいと思います。

また、救命救急講習ではAEDの取り扱いについて行いました。法人内に複数設置されているAEDは、ほとんどの職員がこれまで何らかの研修や講習で学んできておりますが、講習内でも使用する時には一瞬戸惑う場面がありました。危険はいつ起こるかわかりません。訓練の成果が必要な場面で発揮できるよう、今後も訓練を続けていきたいと思えます。

サービス管理責任者 大月



■ コロナ危機…

世間で問題になっているマスク不足…くるみの森班も打撃を受けています…。

製造作業で欠かせないので、少しのストックはあったのですが、こんな時に限って在庫が少なかったため、残り1ヶ月と持ちません。早くこの騒動が解消されることを願っています。

また、利用者さんの健康を一番に考え、出来る限り外へ出る活動は控えています。これまで毎月実施していた市役所や健康福祉センターオアシスなどでの販売もしばらくは中止させていただくことにしました。

なので、今は委託販売のみで対応させていただいています。以下のお店で購入できますので、お近くにお越しの際は、ご自宅でのお茶時間などにぜひご利用ください。

誰もが安心して暮らせる日々が一日でも早く来ますように…。

■ くるみの森 焼菓子委託販売先

- 市立柏原病院 売店（柏原市法善寺）
- 国分病院 売店（柏原市旭ヶ丘）
- tant-tant（柏原市国分西 河内国分駅西口すぐ） [10:00～19:00 定休日：日・祝]
丁寧に作られたリーズナブルなおかずやお弁当がズラリと並び、国分の町には欠かせないお総菜屋さんです。
- 岡村製油 コットンハウス（柏原市堂島町） [10:00～16:00 定休日：土・日・祝]
国内唯一の綿実搾油メーカー岡村製油さんの直売店で、綿実油を使ったコッ豚カツサンドが絶品です。
- 玄米食堂すみれ（藤井寺市道明寺） [11:30～16:00（ラストオーダー14:30） 定休日：日・月・祝]
玄米がとっても美味しくて、心と体に優しいお料理がいただけるごはん屋さんです。
- coccoya（藤井寺市道明寺） [9:00～17:00 ※パンが売切れ次第終了 定休日：日・月]
国産小麦を使った美味しくてもおもしろいパンと、暮らしの雑貨が並びとっても楽しいパン屋さんです。
- おちゃどころTumugu（柏原市今町） [定休日：日・月]
料理のジャンルは様々で、スパイスカレーやおやつ、お弁当など、どれを食べても絶品、心も体も満足できるお店です。
※営業時間は、おちゃどころTumuguさんのSNS（Facebook、Instagram）でご確認ください。

◆ 外部販売について ◆

外部での販売の再開時期等につきましては、くるみ福祉会のホームページおよびKURUMI no MORIのFacebook、Instagram等でお知らせさせていただきますので、そちらをご確認ください。くるみの森へ直接お電話いただいても結構です。（072-978-3082 受付時間：土日祝を除く8:30～17:15 担当：阿部）

あっと・ほーむ

お誕生日は リクエストメニューで！

グループホーム くるみの樹では、利用者さんのお誕生日の夕食は、その方の好きなメニューをリクエストしてもらい楽しんで頂いています。また、食後にはケーキを用意してもらい、皆さんで食べてお祝いをします。

今回は、誕生日を迎えられたわかばとつぼみの利用者さんに、そんな誕生日会の感想を伺いました♪



わかば Hさん

2月たんじょうびでした。40才になりました。ばんごはんはトンカツをリクエストしました。おいしかったです。チョコレートケーキもでした。おいしかったです。

つぼみ Mさん

3月グループホームでの初のたんじょうび会でした。私のリクエストメニューはエビチャーハン、春巻き、とんこつラーメン、マンゴープリンでした。2月の給食の話し合いの時に、「なににたべたい？」と聞かれリクエストしましたが、しょくいんさんにはカロリーてきには、少しむりかもよってきいて、でもねんがんどおり、私の食べたいメニュー食べれて幸せでした。ちゅうぼうのひと、職員さんありがとう。食事のあとにはチーズケーキも食べれておいしかったですし幸せでした♡

